

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	mf220244
・ 氏名	大嶋英之
・ 学部	理工学研究科
・ 学科(コース等)	システム理工学専攻
・ 学年(渡航開始時)	修士2年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input type="checkbox"/> 授業履修型 <input checked="" type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	アメリカ合衆国
・ 都市名	West Lafayette
・ 留学先大学名	Purdue University
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期(2021年9月上旬等) 8月中旬 プログラム終了時期(2021年9月上旬等) 12月初旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	自分の研究室の教授、佐藤先生のお知り合いがPurdueにいるという事、また知り合いという事もあり専門分野も重複していると事、最後に自身の希望でもあるアメリカに行けるという事でPurdueを渡航先に決めました。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	研究室の教授の紹介

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に足りており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	留学前に卒業に必要な単位を取り終えている状態である上に、就活も終わっていたため学生生活(学部1年～修士2年)の中で一番時間が有り、行くための専門知識・英語力もある状態で渡航できる修士2年の後期にしました。また、修論に関しては、渡航先の研究を修論として発表する予定だったので、普段の修士2年通りのスケジュール感で海外でも問題なく進めることができました。以上の点を踏まえて、渡航可能と判断しました。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

渡航初めは、セットアップなどに時間がかかることや時差の影響で体調がすぐれないことがありました。一週間後には問題なく研究を進めることができていました。朝9時ごろにはラボに行き、昼はジムで運動し、その後6時まで研究に取り組むといったスケジュールでした。約四か月しかない短い期間だったため、できる限り多くのことを学びたいと考え、朝から夕方まで一生懸命に勉強しました。時折、夜も寝る前に2時間勉強することもありました。週に2回のミーティングが設定されており、学科をまたいだミーティングにも参加していました。これにより、英語の勉強だけでなく、異なる専門知識も習得することができました。教授は何でも挑戦させてくれるタイプで、自ら希望してfMRIの施設に行き計測や見学をし、その後データの解析にも取り組みました。これは元々自分のタスクには含まれていなかったものの、自らの希望と経験として積極的に取り組みました。環境に恵まれていたことありますが、研究室型配属留学では基本的に日本の研究室と変わらない感じで取り組むことができていると思います。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名②	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名③	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名④	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名⑤	単位数 (現地単位数)
科目概要	
科目名⑥	単位数 (現地単位数)
科目概要	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

交友関係は基本的に、自分がラボにいるのに対して他のメンバーは家で作業することが多かったため、話す機会は少なかったです。しかし、自らランチやジムに誘ったりすることで、日常会話も楽しむことができました。ウェルカムパーティーの際にサッカーチームに誘われ、毎週そのチームで学校の後にトーナメント形式の大会に参加しました。皆が親しみやすく、サッカーはボールで会話できることを再確認できました。また、偶然出会った日本人留学生に誘われ、日本人サークルに入り、日本文化や日本食を海外の友達と共有することができました。シェアハウスでの生活もあり、毎日夕食を作りながらルームメイトとの会話は楽しい時間でした。

交友関係で特筆すべき点は、アメリカには陽気な人が多いという先入観がありましたが、実際にはごく一部の人が多く、基本的には日本人と変わりませんでした。ですので、友達を増やしたい人は積極的に話しかけることが大切だと思います。どこで出会った人でも構いません。ジムやバスの中、スーパーマーケットでも気軽に声をかけることができます。また、話題も何でも構いません。「今日どうだった?」といった簡単な質問から会話が広がります。うまく会話が進まないこともあるかもしれませんが、そんなことでくじけずに続けていくことが大切です。気を使わない心と意気込みも大事です。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

一年ほどの時間が取れば良いですが、もし修士2年の後期のように限られた期間での渡航を検討している方は、渡航中に是非今までの「私生活」を一步上のレベルに引き上げる生活を心掛けてほしいと思います。自分は屋にジムに行っていました、切り替えのメリハリや時間の有効活用、心身共に健康であることを目指しています。アメリカは自然が豊富なので、週末のランニングもおすすめです。新しい土地での生活ということで、理想の生活を実現してください。その過程で、おのずと研究進捗も生まれてきます。苦労ことは多いですが、基本的に渡航中でも自己解決できます。自分は、登校までに時間がかかるので電動スケートボードを買ってキャンパス内を自由に動き回っていました。柔軟に生活に対応できるスキルは生きていく上で大事なスキルです。研究に関して多くの知見を得られたことはもちろんのこと、自発的に大きな気づきは、今まで茫然と「留学は絶対的に良いもの」という考えの答えを得られた点です。もちろん留学で気づけたことや得られたものはたくさんあります。しかし、その中には、日本でもできること、つまりは海外に行かなくても実現できることが存在します。これは決して否定的な意見ではなく、むしろ行ったからこそ、両国をグローバルかつ多面的な視点で見られるようになったことを意味しています。日本の良い点に気づけたことでもあります。その意味で、自分の国により興味を持つきっかけになった良い経験でした。今後留学を考えている人は、「純粋に留学に行きたい」という理由や「留学に行ったらすべてが変わる」といった絶対的な正義だけでなく(なぜなら自分はこんな気質があったから...)、より具体的に成し遂げたいことや、どういった生活を送りたいかをイメージすることで、受け身でなく自ら働きかけられる充実した生活が待っていると思います。色々書きましたが、アメリカに住む方々の人柄は素晴らしく、皆がスマイルで挨拶してくれます。特にシカゴなどの大都市は圧巻です。日本の都市とは全く違った感覚を味わえるので、渡航中に時間がある時は是非一人旅にでも出かけてみてください。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

出願は苦労はしませんでした、というのも配属先の教授が優しい方であったためすぐに受け入れ許可が出ました。教授との相性は重要なのでここで良く自分と相談した方が良いと思います。

渡航ビザの申請は本当に早めに行ってください。個人的に余裕があると思っていても、現地の手続きや予定の変更などで予期せぬ遅れが生じる場合があります。この点については、国際部の方に進捗確認することでスムーズに進むと思います。また、何回か言及しましたが、1セメスターのアパート探しは苦労する可能性があるため、これも早めに手配することが重要です。自分はアパート探しが一番苦労しました。

キャリアケースに渡航前にスペースがあるのなあ、水、食料を少し持って行くとイイです。どの水が体にあるか最初はわかりませんし、食料もいろいろお吟味した方がいいので初めは安心安全の日本の水と食料が良いです。加えて、滞在先について次の日に余裕があれば歩きやランニングでもいいので街を散歩するのがいいです。近くにあるスーパーマーケットや大学までの道を事前に予習しておくことで生活がスムーズに進められます。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等) 一般的な家のシェアハウス(男子3~4人)、自分の部屋はプライベートシャワーとバストイレがあります。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等) 配属先の教授が探してくれました。大学が提供するアパート探しのサイトは留学生が使うのには厳しかったです。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。 渡航時は、先生も現地にもいたこともあり先生の知り合いの車に乗り大学まで向かいました(車で2時間)。帰りはシャトルバスを自身で予約し、シカゴまで行きその後バス、電車を用いて空港まで向かいました。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。 学生証発行までは自転車、その後は学生証を見せることで市内バスが無料になったので、バスと電動スケートボードで移動していました。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。 広さ、済心地共に最高でした。冬はセントラルヒーティングのおかげで寒さを感じずに済みました。また、洗濯物は洗濯機・乾燥機がセットで家にあるので乾かす必要がなく便利でした。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	初回の学生証発行は無料でした。その他、必要になったものは特にありませんでした。
往復航空券代(往復)	¥200,000	半年前に予約するのが良いです
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥60,000	芝浦が推奨する保険で約四か月間の費用です
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥60,000	ビザの申請は思ったより時間とお金がかかります
計	¥320,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥90,000	
食費/月	¥50,000	食費は毎日三食自炊したため安く済んでいます。
その他/月	¥20,000	渡航が夏から冬だったため、冬服はかさばるため持って行かなかったこともあり冬服を購入しました。大学のロゴスウェットとかおすすめで
計	¥160,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	家賃をほぼカバーできたのは非常に助かりました。
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

メインの正門の内の一つです。サンクスギビングの日に取ったので、Purdueのマスコット共に映っています。海外大学あるあるだと思いますが、どの門も建物も立派で全てシンボルに見えますね。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

シェアハウスなので全てルームメイトと共有です。生活感は半端ないですが、自分は住みやかったです。毎日夜帰宅して、そこから次の日の昼食とその日の夕食を作っていたのはいい思い出です。

その他、任意の写真



説明文

最後のお見送りパーティーの様子です！最後の楽しく終わってよかったのと、ビールが最高でした。今でも連絡を取り合っています。

その他、任意の写真



説明文

海外の大学はイベントが豊富で、教授に誘われてハーフマラソンに参加しました。ハーフマラソンに向けての練習、当日の走り全て良い思い出です。運動する機会が日本よりも多いので、是非運動もしてください。